第１号議案　令和７年度事業報告書

特定非営利活動法人日本バドミントン指導者連盟

１　事業の成果

本指導者講習会は、最新のコーチング理論および身体の仕組みに基づくバドミントン指導法を指導者間で共有し、ジュニア層の競技力向上と指導者自身のスキルアップを図ることを目的として実施した。プログラムの構成にあたっては、インクルーシブで教育的なバドミントン活動の場の拡大を意識した内容とした。

本講習会の成果として、以下の点が挙げられる。受講した指導者からは、「身体の運動性やエコロジカルアプローチといったコーチング理論を、ジュニア選手への指導にどう活かすか具体的に理解できた」「子どもたちが楽しみながら取り組める練習の組み立て方がわかった」といった肯定的な感想が多く寄せられた。このことから、本講習会が目的とした「最新理論に基づく指導法の共有」に対して、参加指導者の理解促進という面で確かな成果が得られたといえる。また、講習会で学んだ内容がジュニア層にとっても「楽しく、ためになる」コンテンツとして有効であるという手応えを、参加指導者自身が実感した点も重要な成果である。

一方で、受講者からは今後の講習会に向けた具体的な要望も寄せられた。第一に、学んだ身体の使い方や基礎理論を試合場面でどう活かすかへの関心が高く、「ゲーム形式の増加」「ダブルスのローテーションや戦術」「スマッシュレシーブ」など実戦的メニューの充実を求める声が多かった。第二に、「苦手なショットごとにコートを分けて克服したい」「レベルや学年に応じたクラス分けをしてほしい」といった、個々の課題に対応した練習環境へのニーズが見受けられた。第三に、指導者層からは「年間を通じた練習プログラムの作り方」「初めて見る選手の課題把握方法」「自宅でできるトレーニングメニュー」など、講習会後も現場で継続して活用できる情報の提供が求められた。加えて、運営・広報面では「他の大会日程との重複」「参加可否連絡の早期化」を望む意見があり、開催時期の調整や広報スケジュールの前倒しも検討課題として挙げられた。

今後は、本連盟が目指す指導者ネットワークの構築とオープンマインドの精神を基盤としながら、上記の受講者の声を踏まえ、実戦形式の導入・課題別クラスの設定・講習会後のフォローアップ体制の整備を段階的に組み込むことで、指導者・選手双方にとってさらに満足度と実効性の高い育成・指導プログラムへと発展させていきたい。

２　事業の実施に関する事項（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

定款の事業名	事業内容	実施期日	実施会場	参加数	支出（千円）
(3)指導者講習会	講習会	11月29日 30日	山形県鶴岡市 出羽体育館	６９人	618
		12月6日 7日	栃木県宇都宮市 宇都宮北高校	８１人	509
		2月22日 23日	秋田県スポーツ科学センター	３５人	594
（9）情報の提供、各種刊行物の発行、広報活動	出版事業	通年	事務局		22
	情報収集・提供	通年	事務局・その他		179